

**製品名:** リン酸化 IKB アルファ (Ser32/Ser36) ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab03833

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	NFKBIA
別名	NFKBIA; IKBA; MAD3; NFKBI; NF-kappa-B inhibitor alpha; I-kappa-B-alpha; Ikb-alpha; Ikbalpha; Major histocompatibility complex enhancer-binding protein MAD3
遺伝子 ID	4792
SwissProt ID	P25963
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

## 背景

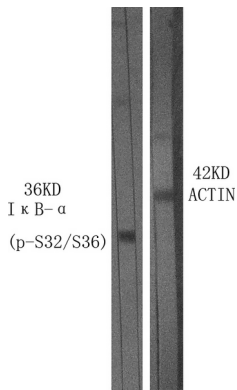
NFKB1 (MIM 164011) または NFKB2 (MIM 164012) は、REL (MIM 164910)、RELA (MIM 164014)、または RELB (MIM

604758) と結合して NF- $\kappa$ B 複合体を形成します。NF- $\kappa$ B 複合体は I- $\kappa$ B タンパク質 (NFKBIA または NFKBIB、MIM 604495) によって阻害され、NF- $\kappa$ B は細胞質内に捕捉されて不活性化されます。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



ホスホ IKB アルファ (Ser32/Ser36) 抗体を使用した、さまざまな溶解物中のホスホ IKB アルファ (Ser32/Ser36) のウエスタンブロット分析。